

各 位

平成 29 年 12 月 28 日

株式会社 みなと銀行

### 「兵庫県内中小企業の景況調査(2017年10月～12月期)」の実施について

株式会社 みなと銀行（頭取 服部博明）は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査（2017年10月～12月期）を実施しましたので、調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

#### ■景況調査の概要

実施時期	平成 29 年 11 月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先：1,801 先、うち有効回答：1,254 先 (有効回答率 69.6%)
実施要領	原則、お客さまからの直接聞き取り
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断 D I 等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

本資料に関するお問い合わせ先  
企画部 広報室 藤井 TEL:078-333-3247

# 兵庫県内中小企業の景況調査

(2017年10月～12月期)

## 【調査結果】

・景況判断は6四半期連続改善し、前回調査の見通し(▲0・8)よりやや良化した。製造業・非製造業とも中堅企業の改善が目立ち、2014年4月の消費増税以降3年9カ月ぶりの高水準。堅調な世界経済と底堅い内需を反映し、中小企業にも景況感の改善が顕著になっている。

・製造業では、経常利益判断が悪化しており、深刻な人手不足による人件費上昇や原料高を価格転嫁できず、収益を押し下げている。

・小売りなどサービス部門の人材確保が一段と厳しさを増している。全産業の4分の1を超える企業が「人手不足」と判断しており、業績を押し下げる懸念が強まっている。

・今後の見通しは、ほぼ横ばい。慎重姿勢は強い。「2018年を表す漢字」は、「新しいことや改革に臨む」と明るい漢字が上位を占めた。

## 回答企業の内訳

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	347	27.7
建設業	184	14.7
卸売業	229	18.3
小売業	78	6.2
不動産業	168	13.4
運輸業	53	4.2
飲食業	10	0.8
医療・保健衛生	31	2.5
サービス業	103	8.2
その他	50	4.0
非製造業	906	72.2
無回答	1	0.1
合計	1,254	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
5名以下	169	13.5
6～10名	147	11.7
小計	316	25.2
11～20名	235	18.7
21～50名	310	24.7
51～100名	191	15.2
小計	736	58.7
101～200名	108	8.6
201名以上	92	7.3
小計	200	15.9
無回答	2	0.2
合計	1,254	100.0

## ※DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合

調査 びんと銀行  
集計 ひよつこ経済研究所  
分析

調査方法等  
・調査時点  
・調査対象  
・調査方法  
・依頼先数  
・有効回答数

2017年11月  
兵庫県内に本社を置くびんと銀行の取引先企業  
訪問(聞き取り)によるアンケート調査  
1801社  
1254社(有効回答率69・6%)

## 1 景況判断

### 6四半期続けて改善

『全産業』は0・9ポイント改善の▲0・6と、6四半期続けて改善した。中堅製造業が11・2ポイント上昇し、全体を押し上げた。

『製造業』は全規模で向上き、5・1ポイント改善の4・0と2年9カ月ぶりにプラスに転じた。

『非製造業』は0・8ポイント悪化の▲2・3。運輸、飲食、サービス業が改善する一方で、卸売、小売、不動産業が悪化した。

地域別では、神戸地域を除く全地域で改善した。先行きは、▲0・7とほぼ横ばいの見通しとなっている。

### 1. 景況判断

項目	「良い」-「悪い」			
	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月 ＜見通し＞
全産業	▲2.5	▲1.5	▲0.6	▲0.7
小規模企業	▲9.2	▲8.6	▲8.5	▲9.0
中小企業	▲2.7	▲0.6	▲1.0	0.3
中堅企業	8.7	7.2	13.0	8.8
製造業	▲0.3	▲1.1	4.0	7.0
小規模企業	▲20.0	▲20.7	▲18.5	▲18.5
中小企業	▲2.3	▲1.2	2.1	7.0
中堅企業	13.9	7.2	18.4	16.4
非製造業	▲3.5	▲1.5	▲2.3	▲3.6
小規模企業	▲8.4	▲7.5	▲7.6	▲8.1
中小企業	▲3.0	▲0.4	▲2.2	▲2.9
中堅企業	4.5	7.1	9.7	4.1

## 2 売上高判断

### 販売数量、販売単価とも改善

『製造業』『非製造業』とも販売数量と販売単価が向上き、『全産業』で10・7と3・4ポイント改善した。

規模別では、中堅企業が数量・単価とも大幅に改善、小規模企業もプラスに転じた。

業種別では、製造業で機械関連企業の改善が目立った。また、飲食、サービス、運輸業の改善幅が大きい。

地域別では、但馬・丹波、淡路地域の回復が遅れ気味である。

先行きは、『製造業』『非製造業』とも引き続き改善する見通しとなっている。

### 2. 売上高判断 (前年同月比)

項目	「増加」「減少」「上昇」「下落」			
	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月 ＜見通し＞
全産業	7.7	7.3	10.7	12.5
販売数量	5.2	6.6	10.0	12.3
小規模企業	▲7.1	▲0.9	3.1	2.8
中小企業	5.4	7.5	8.6	13.2
中堅企業	24.9	15.8	24.9	23.9
販売単価	1.9	1.2	5.3	5.1
小規模企業	▲1.9	▲4.0	3.1	2.4
中小企業	2.5	3.0	4.3	4.7
中堅企業	5.9	2.5	12.4	10.6
製造業	10.4	7.6	14.8	19.2
販売数量	10.3	7.9	16.2	19.6
販売単価	3.1	1.4	2.3	1.2
非製造業	6.5	7.3	9.2	9.9
販売数量	3.0	6.2	7.5	9.4
販売単価	1.3	1.1	6.5	6.6

### 3 経常利益判断 製造業、非製造業とも改善

『全産業』では2・7ポイント改善。『製造業』は小規模・中堅企業が悪化した。『非製造業』は全規模で良化し、2・8ポイント改善した。

業種別では飲食業が大幅に改善し、建設、運輸、医療・保健衛生、サービス業も好調と判断している。先行きは、『製造業』『非製造業』とも引き続き改善する見通しとなっている。

### 4 在庫判断 過剰感が少し強まる

約9割の企業は、「適正」と判断している。

『全産業』は過剰感が0・1ポイント強まり▲1・1となった。卸売業と小売業で過剰が続いている。先行きは、ほぼ全業種で在庫調整が進み、0・1と不足判断に転じる見通しとなっている。

### 5 資金繰り判断 中堅企業に余裕のある先が多い

9割超の企業が「楽である」もしくは「普通」と判断している。

『製造業』『非製造業』とも良化し、『全産業』では1・2ポイント改善した。特に中堅企業の改善が著しく、資金繰りに余裕のある企業が多い。

### 6 雇用判断 不足感は過去最高

『製造業』『非製造業』とも不足感は過去最高を更新。特に建設業は、ほぼ半数の企業が「不足」と判断しているほか、運輸、医療・保健衛生、サービス業も恒常的に不足感が強い。

(前年同期比) 「増加」-「減少」 「不足」-「過剰」 「楽である」-「苦しい」 「不足」-「過剰」

項目	3. 経常利益判断				4. 在庫判断				5. 資金繰り判断				6. 雇用判断			
	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》
全産業	4.3	7.7	10.4	11.4	▲1.3	▲1.0	▲1.1	0.1	5.2	4.4	5.6	4.9	22.5	21.5	25.6	25.9
小規模企業	▲3.0	▲1.2	3.2	4.5	4.1	0.6	3.3	4.7	0.6	▲1.5	1.6	0.3	13.4	11.9	13.7	13.2
中小企業	3.8	9.1	11.8	12.3	▲4.4	▲2.5	▲3.2	▲1.8	5.7	4.8	3.9	3.6	23.2	22.3	28.7	28.9
中堅企業	17.2	17.6	16.5	19.0	2.0	2.0	0.0	0.0	10.5	12.4	18.0	16.9	34.6	34.0	33.5	35.4
製造業	6.2	10.4	12.5	15.2	▲4.5	▲4.5	▲3.7	▲2.3	5.9	7.3	8.4	6.1	21.3	20.6	28.6	29.4
小規模企業	▲20.0	3.4	0.0	0.0	▲4.2	▲10.3	0.0	3.7	▲4.0	3.4	▲3.7	▲7.4	16.0	13.8	29.6	29.6
中小企業	2.0	8.1	12.9	14.6	▲5.1	▲3.9	▲4.1	▲2.1	5.0	4.3	5.7	4.5	19.8	18.6	27.2	27.3
中堅企業	30.1	21.7	15.8	23.0	▲1.4	▲4.4	▲3.9	▲5.4	12.3	20.3	21.1	16.2	29.2	30.9	32.9	36.5
非製造業	3.4	6.9	9.7	10.0	▲0.1	0.3	0.0	1.1	4.9	3.4	4.6	4.5	22.8	21.8	24.5	24.6
小規模企業	▲1.6	▲1.6	3.5	4.9	4.8	1.7	3.7	4.8	1.0	▲1.9	2.1	1.1	13.3	11.7	12.2	11.7
中小企業	4.7	9.5	11.5	11.5	▲4.1	▲1.8	▲2.7	▲1.7	6.3	5.1	3.3	3.3	25.0	24.1	29.5	29.8
中堅企業	9.0	15.6	16.9	16.5	3.9	5.4	2.6	3.6	8.2	8.5	16.1	17.4	36.6	35.5	33.9	34.7

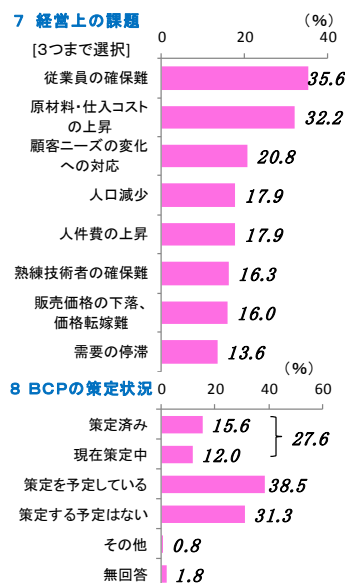
### 7 経営上の課題

経営上の課題（3つまで選択）は、「従業員の確保」が35・6%で最も多く、「コストの上昇」32・2%、「顧客ニーズの変化への対応」20・8%などが続く。規模別では中堅企業が「従業員確保」難、小規模企業では「コスト上昇」と「販売価格下落」をあげた企業が多い。

### 8 BCPの策定状況

「策定済み」と「策定中」を合わせると27・6%となり、3年前の調査（17・9%）と比べて約10ポイント増加した。

策定予定がない企業は小規模企業で半数を超えており、理由は「必要性を感じていない」が56・7%と最多で、「知識・情報不足」19・8%、「取り組む時間・人員の不足」18・8%と続く。



### 「トピックス」2018年を表す漢字

昨年が続いて「進」が60件で最も多く、以下「変」「新」「挑」「躍」など業容の拡大を期待する漢字が上位に並んだ。

順位	漢字	件数
1	進	60
2	変	51
3	新	45
4	安	43
5	明	34
6	挑	32
7	躍	26
8	伸	25
	増	25
10	飛	24
	継	24
12	昇	22
13	改	20
14	楽	19
15	良	17

# 兵庫県内中小企業の景況調査

## (2017年10月～12月期)

### 〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 在庫判断	7
5. 資金繰り判断	8
6. 雇用判断	9
7. 経営上の課題	10
8. B C P の策定状況	11
9. トピックス — 2018年を表す漢字 —	13
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	14

本調査に関する問い合わせ先  
みなと銀行 企画部 (担当:藤井)  
TEL 大代表(078)331-8141  
直通 (078)333-3247

## I. 調査方法等

- ◆調査時点 2017年11月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 訪問(聞き取り)によるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,801社
- ◆有効回答数 1,254社(有効回答率69.6%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

### 〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	412	32.9
阪神地域	301	24.0
播磨地域	419	33.4
但馬・丹波地域	48	3.8
淡路地域	72	5.7
無回答	2	0.2
<b>合計</b>	<b>1,254</b>	<b>100.0</b>

神戸地域・・・神戸市  
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)  
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)  
 但馬・丹波地域・・・篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)  
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
<b>製造業</b>	<b>347</b>	<b>27.7</b>	
非製造業	建設業	184	14.7
	卸売業	229	18.3
	小売業	78	6.2
	不動産業	168	13.4
	運輸業	53	4.2
	飲食業	10	0.8
	医療・保健衛生	31	2.5
	サービス業	103	8.2
その他	50	4.0	
<b>非製造業</b>	<b>906</b>	<b>72.2</b>	
無回答	1	0.1	
<b>合計</b>	<b>1,254</b>	<b>100.0</b>	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	101	8.1
500万円超～1千万円以下	351	28.0
1千万円超～2千万円以下	249	19.9
2千万円超～3千万円以下	136	10.8
3千万円超～5千万円以下	209	16.7
5千万円超～1億円以下	162	12.9
1億円超	44	3.5
無回答	2	0.2
<b>合計</b>	<b>1,254</b>	<b>100.0</b>

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	169	13.5
	6～10名	147	11.7
	<b>小計</b>	<b>316</b>	<b>25.2</b>
中小企業	11～20名	235	18.7
	21～50名	310	24.7
	51～100名	191	15.2
	<b>小計</b>	<b>736</b>	<b>58.7</b>
中堅企業	101～200名	108	8.6
	201名以上	92	7.3
	<b>小計</b>	<b>200</b>	<b>15.9</b>
無回答	2	0.2	
<b>合計</b>	<b>1,254</b>	<b>100.0</b>	

### 〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

## II. 調査結果の概要

- ・景況判断は6四半期連続改善し、前回調査の見通し（▲0.8）よりやや良化した。製造業・非製造業とも中堅企業の改善が目立ち、2014年4月の消費増税以降3年9カ月ぶりの高水準。堅調な世界経済と底堅い内需を反映し、中小企業にも景況感の改善が顕著になっている。
- ・製造業では、経常利益判断が悪化しており、深刻な人手不足による人件費上昇や原料高を価格転嫁できず、収益を押し下げている。
- ・小売りなどサービス部門の人材確保が一段と厳しさを増している。全産業の4分の1を超える企業が「人手不足」と判断しており、業績を下押しする懸念が強まっている。
- ・今後の見通しは、ほぼ横ばい。慎重姿勢は強い。
- ・「2018年を表す漢字」は、「新しいことや改革に臨む」明るい漢字が上位を占めた。

景況判断 DI は0.9ポイント改善の▲0.6  
先行きは0.1ポイント悪化の▲0.7

項目	最近3ヵ月 〔2017年10月～12月〕	今後3ヵ月 〔2018年1月～3月〕
<b>景況判断</b> 「良い」-「悪い」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では▲0.6と6期続けて改善。</li> <li>・製造業が改善、非製造業は悪化。</li> <li>・製造業は全規模で改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では▲0.7とほぼ横ばいを予想。</li> <li>・引き続き製造業は改善、非製造業は悪化を見込む。</li> </ul>
<b>売上高判断</b> (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では3.4ポイント改善の10.7。</li> <li>・製造業、非製造業とも販売数量、販売単価が改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では1.8ポイントの改善予想。</li> <li>・製造業が4.4ポイント、非製造業が0.7ポイント改善すると予想している。</li> </ul>
<b>経常利益判断</b> (前年同期比) 「増加」-「減少」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では2.7ポイント改善の10.4。</li> <li>・小規模非製造業が改善し、規模別にすべての判断がプラスに転じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では1.0ポイントの改善予想。</li> <li>・製造業が2.7ポイント、非製造業が0.3ポイント改善を見込む。</li> </ul>
<b>在庫判断</b> 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では過剰感が少し強まり▲1.1。</li> <li>・「適正」とする企業が約9割と大半。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では在庫調整が進み、0.1と不足に転じると予想している。</li> <li>・今後とも「適正」とする企業が多い。</li> </ul>
<b>資金繰り判断</b> 「楽である」 -「苦しい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では1.2ポイント改善の5.6。</li> <li>・中堅企業は余裕がある先が多い。</li> <li>・「楽」もしくは「普通」が9割を超える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では0.7ポイントの悪化予想。</li> <li>・製造業、非製造業とも悪化すると予想。</li> </ul>
<b>雇用判断</b> 「不足」-「過剰」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では25.6と不足感が強い。</li> <li>・建設、運輸、医療・衛生、サービス業は慢性的な人手不足の状態にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全産業では不足感が少し強まると予想。</li> <li>・製造業、非製造業とも不足感の強まりを見込む。</li> </ul>
<b>経営上の課題</b> (3つまで選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営上の課題は、「従業員の確保難」が35.6%で最も多く、「コストの上昇」32.2%、「顧客ニーズの変化への対応」20.8%などが続く。</li> <li>・規模別では中堅企業が「従業員確保難」、小規模企業では「コスト上昇」と「販売価格下落」をあげた企業が多い。</li> </ul>	
<b>BCPの策定状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「策定済み」と「策定中」を合わせると27.6%となり、3年前の調査（17.6%）と比べて約10ポイント増加した。</li> <li>・策定予定がない企業は小規模企業で半数を超えており、理由は「必要性を感じていない」が56.7%と最多で、「知識・情報不足」19.8%、「取り組む時間・人員の不足」18.8%と続く。</li> </ul>	
<b>2018年を表す漢字</b> (1文字)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に続いて「進」が60件で最も多く、以下「変」「新」「挑」「躍」など業容の拡大を期待する漢字が上位に並んだ。</li> </ul>	

### Ⅲ. 個別項目の動向

#### 1. 景況判断

##### (1) 最近3ヵ月 [2017年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、0.9ポイント改善の▲0.6と、6四半期続けて改善した。中堅製造業が11.2ポイント上昇し、全体を押し上げた。

業種別・・・『製造業』は全規模で上向き、5.1ポイント改善の4.0と、2年9ヵ月ぶりにプラスに転じた。『非製造業』は0.8ポイント悪化の▲2.3。

規模別・・・『小規模企業』(従業員数10名以下)が0.1ポイント、『中堅企業』(同101名以上)は5.8ポイントといずれも改善したのに対し、『中小企業』(同11~100名)は0.4ポイント悪化した。

##### 【参考】

地域別・・・『神戸地域』を除く全地域で改善した。

業種別・・・『運輸業』、『飲食業』、『サービス業』が改善する一方で、『卸売業』、『小売業』、『不動産業』が悪化した。

##### (2) 今後3ヵ月 [2018年1月~3月]

全産業・・・先行きは、▲0.7とほぼ横ばいの見通しとなっている。

業種別・・・『製造業』が3.0ポイント改善、『非製造業』は1.3ポイント悪化を見込む。

規模別・・・『小規模企業』が0.5ポイント、『中堅企業』が4.2ポイントといずれも悪化を見込み、『中小企業』は1.3ポイント改善を予想する。

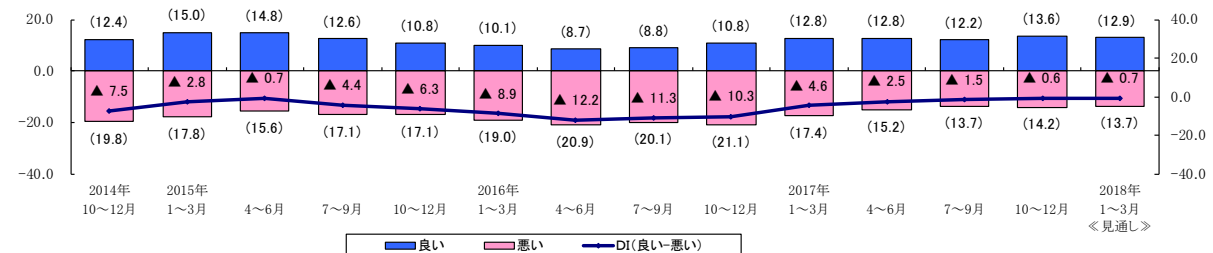
「良い」-「悪い」

項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》
全産業	▲4.6	▲2.5	▲1.5	▲0.6	▲0.7
小規模企業	▲8.5	▲9.2	▲8.6	▲8.5	▲9.0
中小企業	▲3.2	▲2.7	▲0.6	▲1.0	0.3
中堅企業	▲4.0	8.7	7.2	13.0	8.8
製造業	▲9.2	▲0.3	▲1.1	4.0	7.0
小規模企業	▲37.0	▲20.0	▲20.7	▲18.5	▲18.5
中小企業	▲6.6	▲2.3	▲1.2	2.1	7.0
中堅企業	▲7.4	13.9	7.2	18.4	16.4
非製造業	▲3.1	▲3.5	▲1.5	▲2.3	▲3.6
小規模企業	▲6.0	▲8.4	▲7.5	▲7.6	▲8.1
中小企業	▲1.6	▲3.0	▲0.4	▲2.2	▲2.9
中堅企業	▲2.3	4.5	7.1	9.7	4.1

【参考】 「良い」-「悪い」

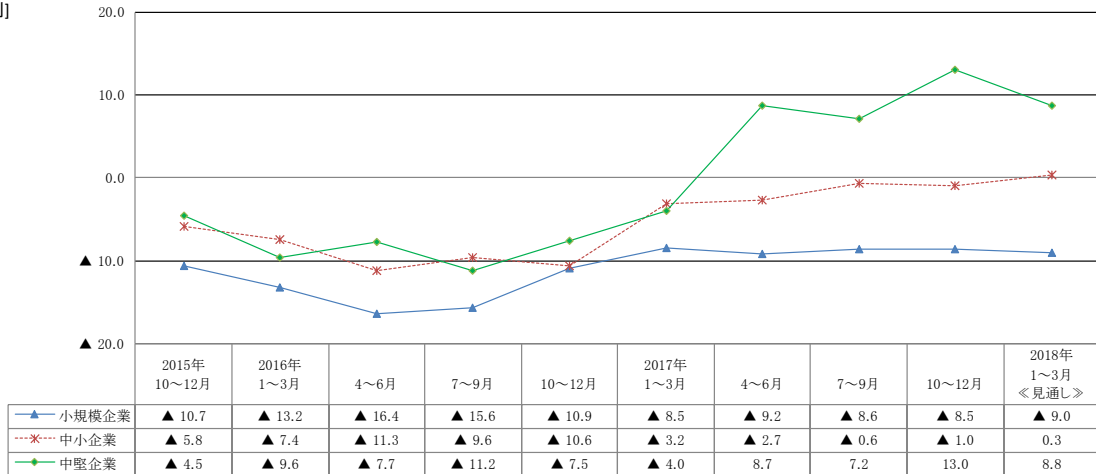
項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲6.0	▲3.1	0.0	▲4.1	▲1.7
	阪神地域	5.1	▲1.3	1.8	5.0	1.7
	播磨地域	▲6.9	▲1.3	▲0.9	1.4	▲1.0
	但馬・丹波地域	▲16.0	▲7.0	▲20.8	▲6.3	6.3
	淡路地域	▲19.4	▲8.0	▲13.6	▲12.5	▲6.9
業種別	製造業	▲9.2	▲0.3	▲1.1	4.0	7.0
	建設業	9.5	6.6	9.5	9.2	7.1
	卸売業	▲11.4	▲8.1	▲4.7	▲9.2	▲9.9
	小売業	▲19.1	▲16.3	▲10.1	▲21.8	▲24.0
	不動産業	▲1.0	▲3.4	▲2.2	▲3.6	▲4.2
	運輸業	▲3.2	7.4	0.0	7.5	11.8
	飲食業	▲55.6	▲50.0	▲53.8	▲20.0	▲30.0
	医療・保健衛生	▲4.4	3.0	5.3	6.5	9.7
	サービス業	0.0	▲5.0	▲9.7	1.0	▲3.0
	その他	3.8	1.6	8.9	2.0	▲2.1

景況判断の推移【全産業】

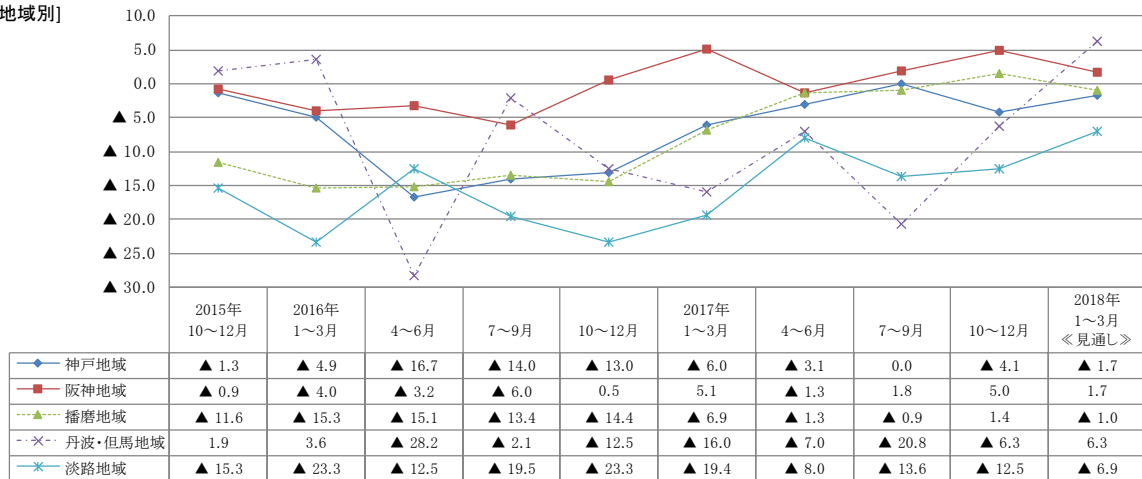


# 景況判断の推移明細

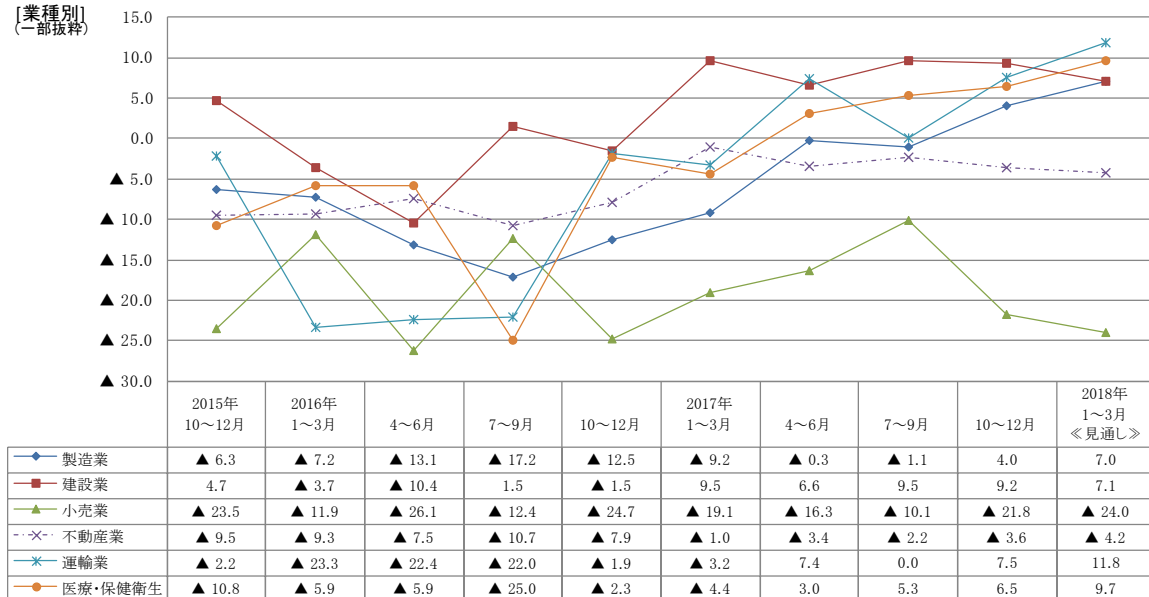
[規模別]



[地域別]



[業種別  
(一部抜粋)]





## 2. 売上高判断

### (1) 最近3ヵ月 [2017年10月～12月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、10.7と3.4ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』、『非製造業』とも販売数量、販売単価が上向き、『製造業』は7.2ポイント、『非製造業』は1.9ポイント改善した。

#### 【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は4.9ポイント悪化の▲10.6、『淡路地域』は2.6ポイント悪化の▲1.4となっており、回復が遅れ気味である。

業種別・・・『製造業』で機械関連の改善が目立った。また、『飲食業』(13.1ポイント)、『サービス業』(8.4ポイント)、『運輸業』(5.2ポイント)の改善幅が大きい。

### (2) 今後3ヵ月 [2018年1月～3月]

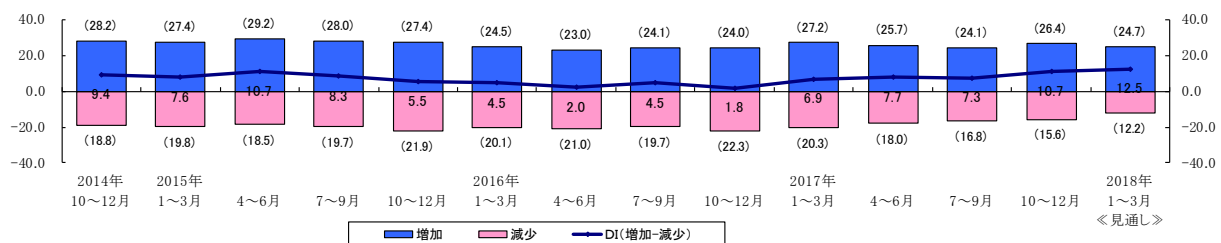
全産業・・・先行きは、販売単価は悪化するが、販売数量が改善し、12.5(1.8ポイント改善)となる見通しとなっている。

業種別・・・『製造業』は4.4ポイント改善の19.2、『非製造業』は0.7ポイント改善の9.9といずれも改善する見通し。

項目	2017年 1～3月	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月 《見通し》
<b>全産業</b>	6.9	7.7	7.3	10.7	12.5
販売数量	5.7	5.2	6.6	10.0	12.3
小規模企業	1.5	▲7.1	▲0.9	3.1	2.8
中小企業	6.6	5.4	7.5	8.6	13.2
中堅企業	10.1	24.9	15.8	24.9	23.9
販売単価	1.5	1.9	1.2	5.3	5.1
小規模企業	▲1.5	▲1.9	▲4.0	3.1	2.4
中小企業	1.8	2.5	3.0	4.3	4.7
中堅企業	5.2	5.9	2.5	12.4	10.6
<b>製造業</b>	6.0	10.4	7.6	14.8	19.2
販売数量	6.9	10.3	7.9	16.2	19.6
販売単価	▲0.3	3.1	1.4	2.3	1.2
<b>非製造業</b>	7.2	6.5	7.3	9.2	9.9
販売数量	5.3	3.0	6.2	7.5	9.4
販売単価	2.2	1.3	1.1	6.5	6.6

項目	2017年 1～3月	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	7.6	8.4	6.5	13.2	12.5
	阪神地域	13.3	8.0	8.4	10.6	9.8
	播磨地域	4.4	9.8	10.0	12.9	15.6
	但馬・丹波地域	0.0	2.3	▲5.7	▲10.6	10.6
	淡路地域	▲6.5	▲3.4	1.2	▲1.4	5.6
業種別	製造業	6.0	10.4	7.6	14.8	19.2
	建設業	20.3	22.0	15.2	15.8	11.5
	卸売業	4.2	▲2.4	5.9	6.6	8.9
	小売業	▲6.9	0.0	▲5.1	▲6.6	8.0
	不動産業	9.5	▲1.2	3.9	2.5	2.5
	運輸業	▲4.9	27.8	15.6	20.8	23.1
	飲食業	▲33.3	▲25.0	▲23.1	▲10.0	▲20.0
	医療・保健衛生	6.7	9.1	24.3	12.9	9.7
	サービス業	7.2	9.9	8.1	16.5	20.0
	その他	3.8	7.9	▲1.8	16.0	6.3

#### 売上高判断の推移【全産業】



### 3. 経常利益判断

#### (1) 最近3ヵ月 [2017年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、10.4と2.7ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』は小規模・中堅企業が悪化した。『非製造業』は全規模で良化し、2.8ポイント改善した。

規模別・・・『小規模企業』が4.4ポイント改善してプラス判断に転じたほか、『中小企業』は2.7ポイント改善したのに対し、『中堅企業』は1.1ポイント悪化した。

#### 【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『阪神地域』、『播磨地域』が改善したのに対し、『但馬・丹波地域』がマイナス判断に悪化し、『淡路地域』も悪化した。

業種別・・・『飲食業』が大幅に改善し、『建設業』、『運輸業』、『医療・保健衛生』、『サービス業』も好調と判断している。

#### (2) 今後3ヵ月 [2018年1月~3月]

全産業・・・先行きは、1.0ポイント改善の11.4と、引き続き改善する見通しとなっている。

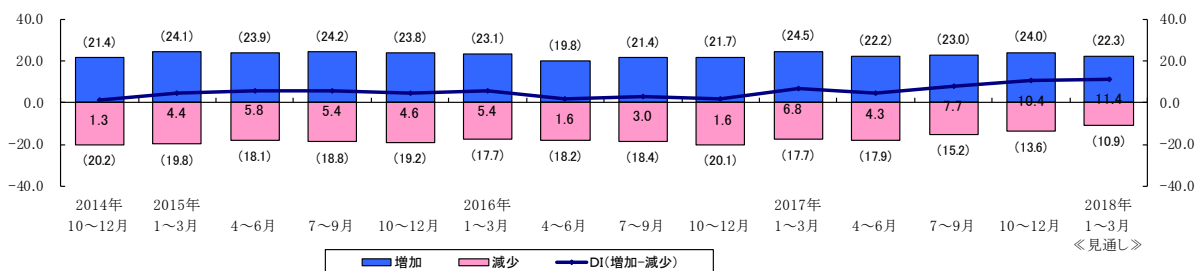
業種別・・・『製造業』が2.7ポイント改善の15.2、『非製造業』は0.3ポイントの改善の10.0を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は1.3ポイント、『中小企業』は0.5ポイント、『中堅企業』は2.5ポイントと、いずれも改善する見通し。

項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》
全産業	6.8	4.3	7.7	10.4	11.4
小規模企業	0.3	▲3.0	▲1.2	3.2	4.5
中小企業	7.6	3.8	9.1	11.8	12.3
中堅企業	15.1	17.2	17.6	16.5	19.0
製造業	7.5	6.2	10.4	12.5	15.2
小規模企業	▲29.6	▲20.0	3.4	0.0	0.0
中小企業	7.9	2.0	8.1	12.9	14.6
中堅企業	20.6	30.1	21.7	15.8	23.0
非製造業	6.6	3.4	6.9	9.7	10.0
小規模企業	3.0	▲1.6	▲1.6	3.5	4.9
中小企業	7.5	4.7	9.5	11.5	11.5
中堅企業	12.2	9.0	15.6	16.9	16.5

項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	2.8	6.9	10.2	12.1	9.8
	阪神地域	15.9	3.5	6.5	8.7	10.6
	播磨地域	6.9	5.9	6.5	12.8	14.5
	但馬・丹波地域	4.0	▲11.9	1.9	▲8.5	8.5
	淡路地域	▲9.7	▲5.7	9.9	6.9	6.9
業種別	製造業	7.5	6.2	10.4	12.5	15.2
	建設業	16.9	14.8	10.1	15.2	12.0
	卸売業	5.2	2.4	5.9	6.1	9.4
	小売業	▲4.5	▲15.2	0.0	▲3.9	6.6
	不動産業	3.6	▲1.1	5.6	4.8	3.0
	運輸業	1.6	7.4	11.1	15.1	15.4
	飲食業	▲33.3	▲33.3	▲38.5	▲10.0	▲20.0
	医療・保健衛生	6.7	6.1	7.9	22.6	19.4
	サービス業	9.3	8.9	13.5	19.4	21.0
	その他	9.6	8.1	5.4	14.0	6.3

経常利益判断の推移【全産業】



## 4. 在庫判断

### (1) 最近3ヵ月 [2017年10月~12月]

全産業・・・約9割の企業は「適正」と判断している(「不足」3.8%、「適正」91.4%、「過剰」4.9%)。  
最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、過剰感が0.1ポイント強まり▲1.1となった。

業種別・・・『製造業』は▲3.7で過剰、『非製造業』は0.0で過不足なしと判断している。

規模別・・・『小規模企業』が3.3で不足、『中小企業』が▲3.2で過剰、『中堅企業』は0.0で過不足なしと判断している。

### 【参考】

地域別・・・『淡路地域』が2.8となり、過剰から不足に転じた。『神戸地域』、『播磨地域』、『但馬・丹波地域』は過剰とする判断が続いている。

業種別・・・『卸売業』が▲7.5、『小売業』が▲6.4と過剰感がある状態が続いている。

### (2) 今後3ヵ月 [2018年1月~3月]

全産業・・・先行きは、ほぼ全業種で在庫調整が進み、0.1と不足判断に転じる見通しとなっている。

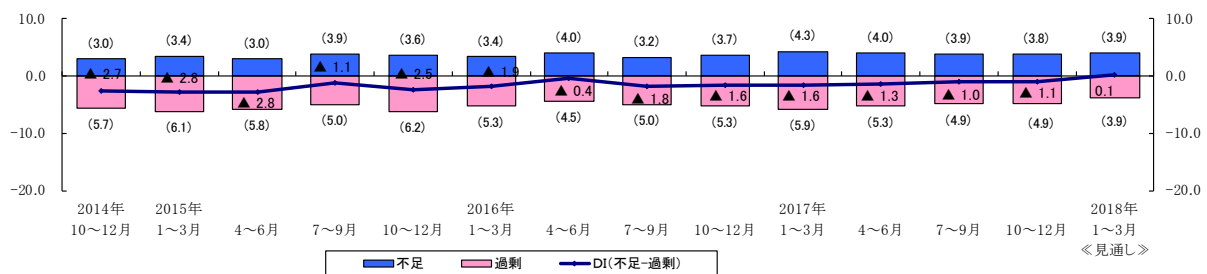
業種別・・・『製造業』は▲2.3と過剰感の低下、『非製造業』は1.1と不足感の上昇を見込んでいる。

規模別・・・『小規模企業』は不足感が1.4ポイント上昇し、4.7になると見込んでいる。

項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》
全産業	▲1.6	▲1.3	▲1.0	▲1.1	0.1
小規模企業	2.2	4.1	0.6	3.3	4.7
中小企業	▲3.2	▲4.4	▲2.5	▲3.2	▲1.8
中堅企業	▲2.6	2.0	2.0	0.0	0.0
製造業	▲4.5	▲4.5	▲4.5	▲3.7	▲2.3
小規模企業	3.7	▲4.2	▲10.3	0.0	3.7
中小企業	▲4.2	▲5.1	▲3.9	▲4.1	▲2.1
中堅企業	▲8.8	▲1.4	▲4.4	▲3.9	▲5.4
非製造業	▲0.6	▲0.1	0.3	0.0	1.1
小規模企業	2.0	4.8	1.7	3.7	4.8
中小企業	▲2.7	▲4.1	▲1.8	▲2.7	▲1.7
中堅企業	0.8	3.9	5.4	2.6	3.6

項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲4.0	▲0.8	▲1.0	▲2.8	▲1.3
	阪神地域	4.7	4.0	1.5	4.9	6.4
	播磨地域	▲4.2	▲2.6	▲1.9	▲2.9	▲2.2
	但馬・丹波地域	▲6.3	▲23.7	▲8.2	▲12.5	▲10.4
	淡路地域	▲2.3	▲5.9	▲2.6	2.8	2.8
業種別	製造業	▲4.5	▲4.5	▲4.5	▲3.7	▲2.3
	建設業	0.5	1.8	4.3	3.4	2.3
	卸売業	▲6.8	▲7.3	▲8.1	▲7.5	▲5.4
	小売業	▲11.4	▲3.3	▲2.5	▲6.4	▲2.6
	不動産業	7.3	10.1	5.2	9.0	11.2

### 在庫判断の推移【全産業】



## 5. 資金繰り判断

### (1) 最近3ヵ月 [2017年10月～12月]

全産業・・・全体の9割超の企業が「楽である」もしくは「普通」と判断している（「楽である」12.8%、「普通」79.9%、「苦しい」7.3%）。

最近3ヵ月の資金繰り判断DI（「楽である」－「苦しい」）は、5.6と1.2ポイント改善した。

業種別・・・『製造業』が1.1ポイント改善の8.4、『非製造業』は1.2ポイント改善の4.6となり、いずれも改善した。

規模別・・・特に『中堅企業』の改善が著しく（5.6ポイント改善）、資金繰りに余裕のある企業が多い。

### 【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は4.5ポイント改善して▲12.5となったが、同地域だけがマイナス判断となっており、他の地域と比べて厳しい状況が続いている。

業種別・・・『小売業』が15.4ポイント悪化の▲16.7、『医療・保健衛生』が12.3ポイント悪化の▲9.7となっており、この2業種がマイナス判断である。

### (2) 今後3ヵ月 [2018年1月～3月]

全産業・・・先行きは、0.7ポイント悪化の4.9となる見通し。

業種別・・・『製造業』は2.3ポイント悪化の6.1、『非製造業』は0.1ポイント悪化の4.5と、いずれも悪化を見込む。

規模別・・・『製造業』、『非製造業』とも『小規模企業』が悪化する見通しとなっている。

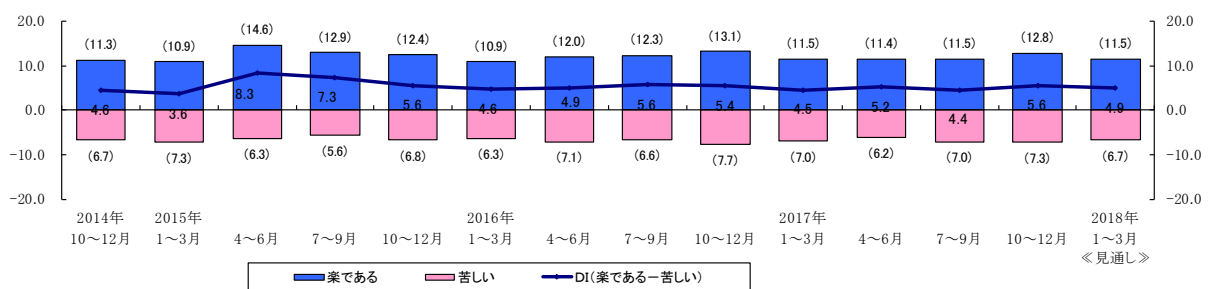
「楽である」－「苦しい」

項目	2017年 1～3月	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月 《見通し》
全産業	4.5	5.2	4.4	5.6	4.9
小規模企業	2.1	0.6	▲1.5	1.6	0.3
中小企業	4.5	5.7	4.8	3.9	3.6
中堅企業	8.0	10.5	12.4	18.0	16.9
製造業	4.5	5.9	7.3	8.4	6.1
小規模企業	0.0	▲4.0	3.4	▲3.7	▲7.4
中小企業	2.5	5.0	4.3	5.7	4.5
中堅企業	13.2	12.3	20.3	21.1	16.2
非製造業	4.4	4.9	3.4	4.6	4.5
小規模企業	2.3	1.0	▲1.9	2.1	1.1
中小企業	5.5	6.3	5.1	3.3	3.3
中堅企業	5.3	8.2	8.5	16.1	17.4

【参考】 「楽である」－「苦しい」

項目	2017年 1～3月	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	12.1	10.0	5.3	8.0	9.0
	阪神地域	4.5	5.4	9.2	5.3	4.8
	播磨地域	▲0.3	3.3	2.8	5.7	3.9
	但馬・丹波地域	▲9.8	▲9.3	▲17.0	▲12.5	▲10.4
	淡路地域	0.0	▲2.3	2.5	2.8	▲4.2
業種別	製造業	4.5	5.9	7.3	8.4	6.1
	建設業	7.9	12.6	5.6	13.0	11.0
	卸売業	4.7	1.2	0.4	2.2	3.1
	小売業	▲1.1	1.1	▲1.3	▲16.7	▲13.2
	不動産業	1.5	5.1	3.9	6.0	5.5
	運輸業	1.6	5.6	1.5	9.4	7.7
	飲食業	▲11.1	0.0	7.7	0.0	0.0
	医療・保健衛生	2.2	▲3.0	2.6	▲9.7	▲3.2
	サービス業	8.2	3.0	7.1	9.7	8.1
	その他	11.5	9.7	7.1	8.0	6.3

資金繰り判断の推移【全産業】



## 6. 雇用判断

### (1) 最近3ヵ月 [2017年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は、25.6となり、2010年11月の調査以降、過去最高を更新した。

業種別・・・『製造業』が28.6、『非製造業』が24.5と、いずれも不足感は過去最高を更新。

規模別・・・『中堅企業』の不足感が0.5ポイント低下したが、『小規模企業』は1.8ポイント、『中小企業』は6.4ポイント、いずれも不足感が強まった。

#### 【参考】

地域別・・・全地域で不足感が強まった。

業種別・・・特に『建設業』はほぼ半数の企業が「不足」と判断しているほか、『運輸業』、『医療・保健衛生』、『サービス業』も恒常的に不足感が強い。

### (2) 今後3ヵ月 [2018年1月~3月]

全産業・・・先行きは、25.9と不足感が少し強まる(0.3ポイント)見通しとなっている。

業種別・・・『製造業』の不足感は0.8ポイント上昇の29.4、『非製造業』は0.1ポイント上昇の24.6を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は不足感が少し低下すると予想するが、『中小企業』と『中堅企業』は上昇を見込む。

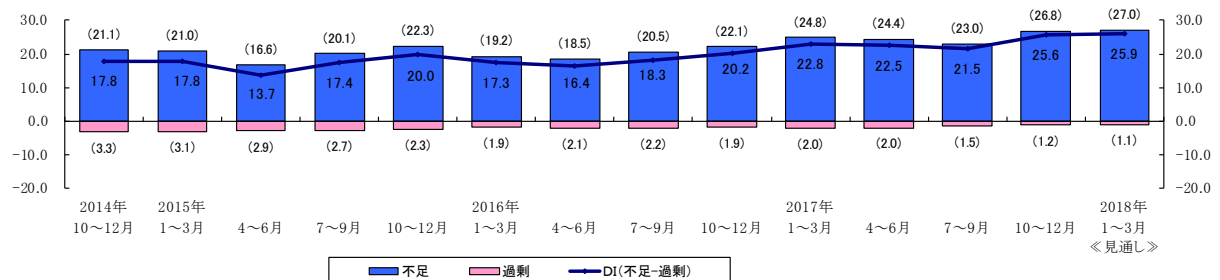
「不足」-「過剰」

項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》
全産業	22.8	22.5	21.5	25.6	25.9
小規模企業	13.9	13.4	11.9	13.7	13.2
中小企業	24.9	23.2	22.3	28.7	28.9
中堅企業	30.2	34.6	34.0	33.5	35.4
製造業	20.7	21.3	20.6	28.6	29.4
小規模企業	22.2	16.0	13.8	29.6	29.6
中小企業	17.5	19.8	18.6	27.2	27.3
中堅企業	31.3	29.2	30.9	32.9	36.5
非製造業	23.7	22.8	21.8	24.5	24.6
小規模企業	13.3	13.3	11.7	12.2	11.7
中小企業	28.4	25.0	24.1	29.5	29.8
中堅企業	29.5	36.6	35.5	33.9	34.7

【参考】 「不足」-「過剰」

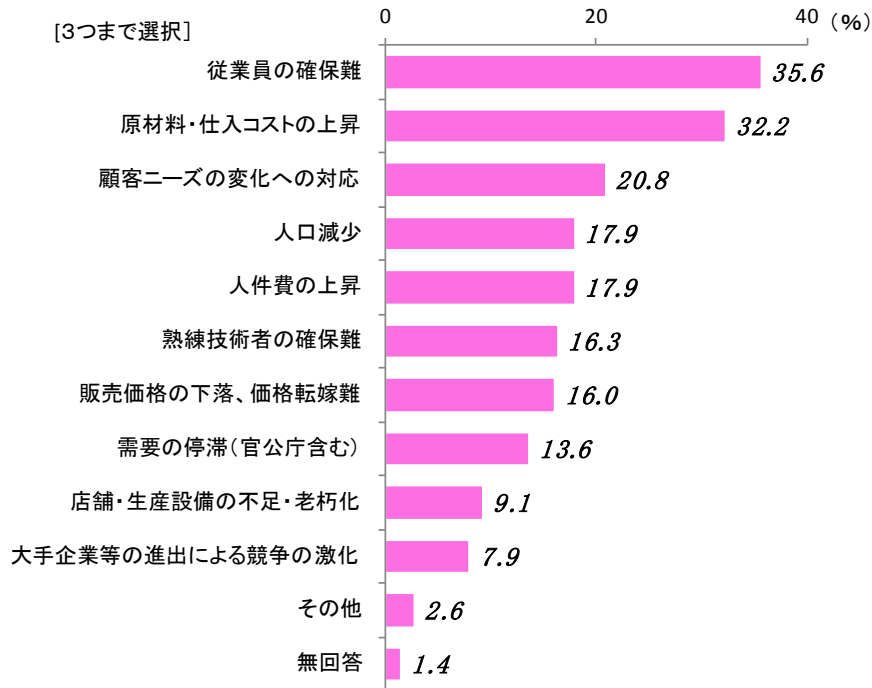
項目	2017年 1~3月	2017年 4~6月	2017年 7~9月	2017年 10~12月	2018年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	22.7	21.1	23.7	25.3	26.2
	阪神地域	22.7	21.8	13.9	20.3	20.4
	播磨地域	20.8	23.9	23.1	28.2	27.3
	但馬・丹波地域	33.3	16.3	24.5	29.2	33.3
	淡路地域	26.9	26.1	30.0	31.9	33.3
業種別	製造業	20.7	21.3	20.6	28.6	29.4
	建設業	39.1	42.6	34.3	46.7	46.2
	卸売業	14.6	8.5	16.1	16.6	16.1
	小売業	30.7	28.3	20.3	23.1	26.3
	不動産業	8.0	7.4	3.9	3.6	3.7
	運輸業	27.4	38.9	35.4	34.0	30.8
	飲食業	55.6	41.7	53.8	30.0	30.0
	医療・保健衛生	28.9	30.3	21.1	22.6	25.8
	サービス業	35.1	32.7	26.8	35.0	34.3
	その他	9.6	19.0	28.6	20.0	22.9

雇用判断の推移【全産業】



## 7. 経営上の課題

- ・ 経営上の課題（3 つまで選択）は、「従業員の確保難」が 35.6%で最も多く、「原材料・仕入コストの上昇」32.2%、「顧客ニーズの変化への対応」20.8%などが続く。
- ・ 規模別では、中堅企業は「従業員の確保難」（55.0%）、小規模企業は「原材料・仕入コストの上昇」（40.2%）と「販売価格の下落、価格転嫁難」（20.3%）をあげた企業が多い。



[3つまで選択]

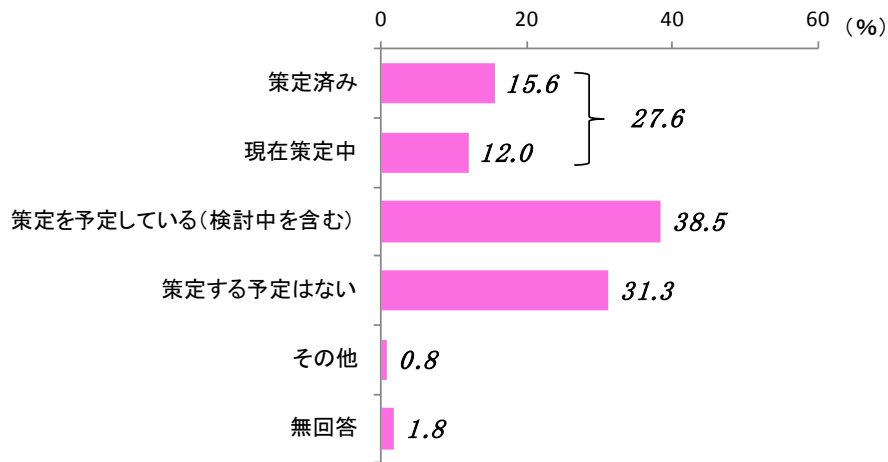
(%)

	回答 企業数 (社)	従業員の 確保難	原材料・仕入 コストの上昇	顧客ニーズ の変化への 対応	人口減少	人件費の 上昇	熟練技術者 の確保難	販売価格の 下落、価格 転嫁難	需要の停滞 (官公庁含 む)	店舗・生産設 備の不足・老 朽化	大手企業等 の進出による 競争の激化	その他	無回答	
全 産 業	1,254	35.6	32.2	20.8	17.9	17.9	16.3	16.0	13.6	9.1	7.9	2.6	1.4	
規 模 別	小規模企業	316	17.7	40.2	16.8	25.0	8.2	8.2	20.3	10.8	6.0	5.4	4.1	3.2
	中小企業	736	37.9	31.5	22.0	15.8	20.4	19.4	17.0	16.2	9.9	8.4	2.0	0.8
	中堅企業	200	55.0	22.5	22.5	14.5	24.0	17.5	6.0	8.5	11.0	10.0	2.5	0.5
業 種 別	製造業	347	42.4	32.3	19.9	10.7	19.6	24.5	14.1	13.3	15.6	8.9	2.9	0.9
	非製造業	906	33.0	32.2	21.1	20.6	17.2	13.1	16.8	13.7	6.6	7.5	2.5	1.5

## 8. BCPの策定状況

### (1)BCPの策定状況

- ・「策定済み」(15.6%)と「策定中」(12.0%)を合わせると27.6%となり、3年前の調査(17.9%)と比べて約10ポイント増加した。
- ・「策定済み」と「策定中」を合わせた割合を見ると、小規模企業の19.3%に対し、中堅企業は40.5%となっており、規模が大きい企業でBCPの策定が進んでいる。

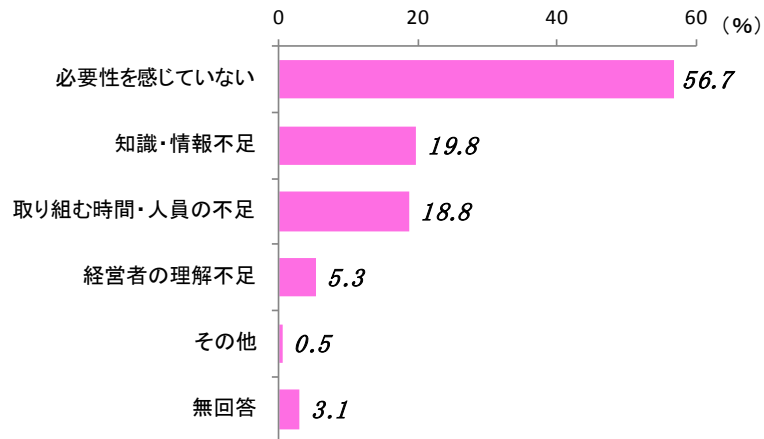


(%)

	回答 企業数 (社)	① 策定済み	② 現在策定中	①+②	策定を予定し ている(検討 中を含む)	策定する予 定はない	その他	無回答	合計	
全産業	1,254	15.6	12.0	27.6	38.5	31.3	0.8	1.8	100.0	
規模別	小規模企業	316	7.0	12.3	19.3	28.2	50.3	0.6	1.6	100.0
	中小企業	736	15.2	12.4	27.6	41.7	27.9	0.8	2.0	100.0
	中堅企業	200	30.5	10.0	40.5	43.0	14.0	1.0	1.5	100.0
業種別	製造業	347	16.1	11.0	27.1	45.2	24.5	1.4	1.7	100.0
	非製造業	906	15.3	12.3	27.6	36.0	34.0	0.6	1.9	100.0

## (2)BCPを策定する予定がない企業の理由

- ・ BCPを策定する予定がないと回答した企業にその理由を尋ねたところ、「必要性を感じていない」が56.7%と最多で、「知識・情報不足」が19.8%、「取り組む時間・人員の不足」が18.8%と続く。
- ・ 規模別には、規模の小さい企業ほど「必要性を感じていない」（小規模企業の64.2%に対し、中堅企業は42.9%）。



(注) 複数回答している先があり、合計は100%を超える

(%)

	回答企業数 (社)	必要性を感じていない	知識・情報不足	取り組む時間・人員の不足	経営者の理解不足	その他	無回答	合計	
全産業	393	56.7	19.8	18.8	5.3	0.5	3.1	104.3	
規模別	小規模企業	159	64.2	21.4	13.2	1.3	0.6	1.9	102.5
	中小企業	205	52.7	20.0	19.5	8.3	0.5	4.4	105.4
	中堅企業	28	42.9	10.7	46.4	7.1	0.0	0.0	107.1
業種別	製造業	85	51.8	16.5	30.6	8.2	0.0	2.4	109.4
	非製造業	308	58.1	20.8	15.6	4.5	0.6	3.2	102.9

(注) 複数回答している先があり、合計は100%を超える



## 9. トピックス

### — 2018年を表す漢字 —

- ・「2018年はどのような年にしたいか」を漢字1文字で表現してもらったところ、昨年に続いて「進」が60件で最も多く、以下「変」「新」「挑」「躍」など業容の拡大を期待する漢字が上位に並んだ。

2018年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	進	60
2	変	51
3	新	45
4	安	43
5	明	34
6	挑	32
7	躍	26
8	伸	25
	増	25
10	継	24
	飛	24
12	昇	22
13	改	20
	楽	19
15	良	17
16	上	16
	革	16

〔参考〕 2017年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	進	64
2	安	57
3	新	52
4	変	47
5	明	37
6	伸	32
7	躍	30
8	昇	28
9	動	23
	楽	23
11	良	19
12	改	18
13	飛	17
	増	17
15	米	16
16	挑	15
	成	15

#### IV.【参考】業況判断の内訳明細

景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2017年 1～3月				2017年 4～6月				2017年 7～9月				2017年 10～12月				2018年 1～3月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	12.8	69.8	17.4	▲4.6	12.8	72.0	15.2	▲2.5	12.2	74.2	13.7	▲1.5	13.6	72.2	14.2	▲0.6	12.9	73.4	13.7	▲0.7
小規模企業	8.2	75.2	16.7	▲8.5	6.3	78.3	15.5	▲9.2	5.0	81.3	13.6	▲8.6	6.3	78.8	14.9	▲8.5	5.2	80.6	14.2	▲9.0
中小企業	14.9	67.0	18.1	▲3.2	13.3	70.7	16.0	▲2.7	13.4	72.5	14.0	▲0.6	14.8	69.4	15.8	▲1.0	14.9	70.4	14.6	0.3
中堅企業	12.5	71.0	16.5	▲4.0	21.2	66.3	12.5	▲8.7	19.1	68.9	12.0	7.2	20.5	72.0	7.5	13.0	18.0	72.7	9.3	8.8
製造業	15.2	60.4	24.4	▲9.2	14.6	70.4	14.9	▲0.3	16.3	66.2	17.5	▲1.1	21.4	61.3	17.3	4.0	20.1	66.8	13.1	7.0
小規模企業	3.7	55.6	40.7	▲37.0	4.0	72.0	24.0	▲20.0	6.9	65.5	27.6	▲20.7	7.4	66.7	25.9	▲18.5	0.0	81.5	18.5	▲18.5
中小企業	16.6	60.2	23.2	▲6.6	13.2	71.2	15.6	▲2.3	15.6	67.7	16.7	▲1.2	21.4	59.3	19.3	2.1	20.6	65.8	13.6	7.0
中堅企業	14.7	63.2	22.1	▲7.4	23.6	66.7	9.7	13.9	23.2	60.9	15.9	7.2	26.3	65.8	7.9	18.4	26.0	64.4	9.6	16.4
非製造業	11.9	73.0	15.0	▲3.1	12.0	72.5	15.5	▲3.5	10.7	77.1	12.2	▲1.5	10.6	76.5	12.9	▲2.3	10.2	76.1	13.8	▲3.6
小規模企業	8.6	76.7	14.6	▲6.0	6.5	78.6	14.9	▲8.4	4.9	82.8	12.3	▲7.5	6.2	79.9	13.8	▲7.6	5.7	80.6	13.8	▲8.1
中小企業	14.1	70.2	15.7	▲1.6	13.4	70.3	16.3	▲3.0	12.4	74.9	12.8	▲0.4	11.6	74.5	13.8	▲2.2	12.1	72.9	15.0	▲2.9
中堅企業	11.4	75.0	13.6	▲2.3	18.7	67.2	14.2	4.5	17.1	72.9	10.0	7.1	16.9	75.8	7.3	9.7	13.2	77.7	9.1	4.1

項目	2017年 1～3月				2017年 4～6月				2017年 7～9月				2017年 10～12月				2018年 1～3月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	14.1	65.8	20.1	▲6.0	15.7	65.5	18.8	▲3.1	14.5	71.1	14.5	0.0	13.9	68.1	18.0	▲4.1	14.0	70.3	15.7	▲1.7
	阪神地域	13.2	78.6	8.2	5.1	8.3	82.1	9.6	▲1.3	8.6	84.6	6.8	1.8	14.3	76.4	9.3	5.0	11.9	77.8	10.2	1.7
	播磨地域	13.8	65.4	20.8	▲6.9	14.2	70.4	15.5	▲1.3	13.2	72.6	14.2	▲0.9	13.8	73.7	12.4	1.4	13.0	73.0	14.0	▲1.0
	丹波・但馬地域	8.0	68.0	24.0	▲16.0	11.6	69.8	18.6	▲7.0	9.4	60.4	30.2	▲20.8	20.8	52.1	27.1	▲6.3	20.8	64.6	14.6	6.3
	淡路地域	4.3	72.0	23.7	▲19.4	8.0	76.1	15.9	▲8.0	11.1	64.2	24.7	▲13.6	2.8	81.9	15.3	▲12.5	5.6	81.9	12.5	▲6.9
業種別	製造業	15.2	60.4	24.4	▲9.2	14.6	70.4	14.9	▲0.3	16.3	66.2	17.5	▲1.1	21.4	61.3	17.3	4.0	20.1	66.8	13.1	7.0
	建設業	19.1	71.4	9.5	9.5	16.4	73.8	9.8	6.6	18.1	73.4	8.5	9.5	15.8	77.7	6.5	9.2	14.2	78.7	7.1	7.1
	卸売業	10.4	67.9	21.8	▲11.4	9.3	73.2	17.5	▲8.1	11.9	71.5	16.6	▲4.7	8.7	73.4	17.9	▲9.2	11.2	67.7	21.1	▲9.9
	小売業	4.5	71.9	23.6	▲19.1	7.6	68.5	23.9	▲16.3	11.4	67.1	21.5	▲10.1	6.4	65.4	28.2	▲21.8	4.0	68.0	28.0	▲24.0
	不動産業	7.5	83.9	8.5	▲11.0	5.7	85.2	9.1	▲3.4	3.4	91.0	5.6	▲2.2	6.5	83.3	10.1	▲3.6	4.2	87.3	8.5	▲4.2
	運輸業	11.3	74.2	14.5	▲3.2	25.9	55.6	18.5	7.4	7.9	84.1	7.9	0.0	13.2	81.1	5.7	7.5	15.7	80.4	3.9	11.8
	飲食業	0.0	44.4	55.6	▲55.6	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	46.2	53.8	▲53.8	0.0	80.0	20.0	▲20.0	0.0	70.0	30.0	▲30.0
	医療・保健衛生	8.9	77.8	13.3	▲4.4	12.1	78.8	9.1	3.0	7.9	89.5	2.6	5.3	12.9	80.6	6.5	6.5	16.1	77.4	6.5	9.7
	サービス業	16.5	67.0	16.5	0.0	13.9	67.3	18.8	▲5.0	8.0	74.3	17.7	▲9.7	12.6	75.7	11.7	1.0	11.0	75.0	14.0	▲3.0
	その他	17.0	69.8	13.2	3.8	20.6	60.3	19.0	1.6	14.3	80.4	5.4	8.9	14.0	74.0	12.0	2.0	10.4	77.1	12.5	▲2.1

【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」 - 「不足」 - 「過剰」 - 「案である」 - 「苦しい」

項目	2017年 1～3月				2017年 4～6月				2017年 7～9月				2017年 10～12月				2018年 1～3月 《見通し》			
	増加 不足 案である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 案である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 案である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 案である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 案である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	27.2	52.5	20.3	6.9	25.7	56.3	18.0	7.7	24.1	59.2	16.8	7.3	26.4	58.0	15.6	10.7	24.7	63.1	12.2	12.5
経常利益判断	24.5	57.8	17.7	6.8	22.2	60.0	17.9	4.3	23.0	61.8	15.2	7.7	24.0	62.3	13.6	10.4	22.3	66.8	10.9	11.4
在庫判断	4.3	89.8	5.9	▲1.6	4.0	90.7	5.3	▲1.3	3.9	91.2	4.9	▲1.0	3.8	91.4	4.9	▲1.1	3.9	92.2	3.9	0.1
資金繰り判断	11.5	81.5	7.0	4.5	11.4	82.4	6.2	5.2	11.5	81.5	7.0	4.4	12.8	79.9	7.3	5.6	11.5	81.8	6.7	4.9
雇用判断	24.8	73.1	2.0	22.8	24.4	73.6	2.0	22.5	23.0	75.5	1.5	21.5	26.8	72.0	1.2	25.6	27.0	72.0	1.1	25.9